

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PCテクニック		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	PCテクニック	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ライブハウスコース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース				教員の 実務経験の有無	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用					
授業概要						
Excel・Word・PowerPointといったマイクロソフト系ツールや、GoogleWorkSpaceの各種アプリケーションの入門～基礎操作、活用方法をオンデマンド授業で学ぶ						
到達目標						
授業内でのPC作業や、社会人になってから応用できるPCテクニックを身につける						
授業計画・内容						
【前期】 1～8回目	PCテクニック～Word編～					
【前期】 9～13回目	PCテクニック～Excel編～					
【前期】 14～19回目	PCテクニック～Google編～					
【後期】 20～24回目	PCテクニック～Google編～					
【後期】 25～27回目	PCテクニック～Google スプレッドシート編～					
【後期】 28～33回目	PCテクニック～PowerPoint編～					
【後期】 34～37回目	PCテクニック～Google スライド編～					
【後期】 38回目	PCテクニック～ Web会議ツール編～					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	クリエイティブPCⅡ		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	クリエイティブPC講座Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	企画制作コース/ライブハウスコース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験:25年 デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP(デスクトップパブリッシング)のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。				
授業概要					
Premiereの基本操作方法およびIllustrator、Photoshop、Word、Excel等のソフトの応用やIllustrator等のソフトやHTML、CSSについて、より高い精度での操作とより人に伝わるデザインについて学ぶ。					
到達目標					
より高度なイベントロゴ、フライヤー、チケット等のデザイン作業に係る技術の修得。 創造力、デザイン力の向上、動画制作、編集技術の修得。 PC作業における実践的な技術力の習得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	オリジナルゲームの製作 ・発案、説明書の作成				
【前期】 6～10回目	オリジナルゲームの製作 ・デザイン ・評価				
【前期】 11～15回目	Wordの応用				
【前期】 16～19回目	Excelの応用				
【後期】 20～24回目	Illustratorを使用した課題制作				
【後期】 25～29回目	Photoshopを使用した課題製作				
【後期】 30～34回目	動画コンテンツを使用したPV/MVなどの流行分析				
【後期】 35～38回目	企画ライブ制作過程における各作業				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	分野別講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	ライブハウス分野別講座		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	ライブハウスコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験:30年 ライブハウス・PA会社など数多くの多彩な現場で活躍し、都内のライブハウスの立上げにも携わっている。					
授業概要						
一般教養、楽器、半田製作、パソコン、音響、照明、PC等の、ライブハウスで働くのに必要なことを学ぶ。						
到達目標						
ライブハウスで働く上での総合的な知識の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	音響概論 (デジタルオーディオについて)					
【前期】 6～10回目	楽器知識 打楽器、管楽器、弦楽器					
【前期】 11～15回目	照明概論 仕込み図、照明の職業 12号館B2ホール ビンスポット実習					
【前期】 16～18回目	半田実習 機材説明 XLR.FEMALEの作成、XLR.MALEの作成、マイクケーブルの作成					
【後期】 19～21回目	電子楽器/楽器周辺機材の説明 (電磁楽器・楽器用アンプについて)					
【後期】 22～27回目	音響概論 (ワイヤレスについて)					
【後期】 28～32回目	ミキシングコンソールDiGiCoについて マニュアルを見ながら説明、実機を用いて実践、エディター					
【後期】 33～37回目	半田製作 NL-4の作成、TS-TSの作成					
【後期】 38～41回目	半田製作 最終課題として各自で選定したケーブルを作成					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ライブハウス制作講座Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	ライブハウス分野別実習	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	ライブハウスコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	実務経験:2年 都内ライブハウスにてイベント制作・PA・照明など、幅広く活躍する。					
授業概要						
ライブハウスでのイベントの準備(企画、ブッキング等)からイベント当日の進行等の業務全般について学ぶ。						
到達目標						
ライブハウスにおける業務についての総合力の向上。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	300キャパのライブハウスでイベントの組み方 バンドの選び方、ブッキングの方法					
【前期】 6～10回目	メールマナー、バンドのブッキング イベントのテーマイメージ作り					
【前期】 11～15回目	イベントの概要作り バンドセット図の作り方(機材機種を細かく記載)					
【前期】 16～19回目	タイムテーブル作成(全セクションが見やすく分かり易いもの)					
【後期】 20～24回目	宣伝方法(より多くに伝達出来る方法) インパクトのあるフライヤー作り					
【後期】 25～29回目	スムーズなイベント進行 舞台上の立ち位置(正確な図面)作成					
【後期】 30～33回目	バンドの転換時における楽器移動の仕方、有効スペースの使い方					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ライブハウスPA実習Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	ライブハウスPA実習Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	ライブハウスコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	実務経験:30年 ライブハウス・PA会社など数多くの多彩な現場で活躍し、都内のライブハウスの立上げにも携わっている。					
授業概要						
デジタル機材の知識・技術を学ぶ。						
到達目標						
デジタル機材の取り扱い方法の習得。 ハコ(ライブハウス)専任OPとしての技術習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	デジタルミキサーの使い方、仕組み メイン、モニタースピーカーのチェックの仕方、データー入力					
【前期】 6～10回目	データの保存と呼び出し方 回線表を元に各項目のデータを作成 4Pセッティングとハウスチューニング					
【前期】 11～15回目	企画ライブに向けて仕込み実践、データ作成					
【前期】 16～20回目	3Pバンドのセッティング 4Pバンドのセッティング					
【後期】 21～24回目	メインチューニング モニターチューニング					
【後期】 25～29回目	ドラムの音作り ダイナミクスについて					
【後期】 30～34回目	企画ライブに向けて仕込み実践、データ作成					
【後期】 35～37回目	バンドサウンドについて					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ライブハウス照明実習Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	ライブハウス照明実習Ⅱ		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	ライブハウスコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	実務経験:18年 都内のライブハウスや各種イベントなどで照明オペレーターとして活躍 また様々なアーティスト専属オペレーターとして従事。					
授業概要						
イベントに向けての作業や機材の使い方に関する学内ホール機材を使用したデジタル機材の基礎学習。						
到達目標						
仕込みから卓の打ち込み、操作方法、オペレート等、ライブハウスの現場で必要な技術の習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	高所作業 機材について(ソースフォー、ACL、KJ-6、LHQ、LED、MV)					
【前期】 6～10回目	＜Pearl卓基礎＞ 機種、名称、使用用途、ポート CUE Recordの操作方法、palette作成、SPOTE操作					
【前期】 11～13回目	CL仕込み方法 ライブ実習準備					
【前期】 14～18回目	企画ライブに向けて準備 機材選定、データ作り、仕込み実践					
【前期】 19～21回目	＜Pearl卓応用＞ 操作方法(key flame、macro、RATE master) 課題曲データ打ち込み					
【後期】 25～28回目	応用仕込み練習 回路引き直し、鉄管結び デジタル仕込み					
【後期】 29～32回目	PIN練習 楽園祭イベント準備					
【後期】 33～37回目	企画ライブに向けて準備 機材選定、データ作り、仕込み実践					
【後期】 38～41回目	アドリブオペレート(データの作り方、データ作成) 発表会					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ライブハウス実地演習Ⅱ		授業形態 / 必・選	演習	必修	
	学則上表記	ライブハウス実地演習Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	4回(20単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	ライブハウスコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。					
授業概要						
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。						
到達目標						
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。						
授業計画・内容						
1回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント					
2回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 屋内会場					
3回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 屋外会場					
4～5回目	ゲスト講師によるPA・照明授業					
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						